

市民を対象にした放射線内部被ばく検査を開始します

市は、1月から市民の放射線に対する不安軽減を目的として、ホールボディカウンタによる放射線内部被ばく量の検査を実施します。



ホールボディカウンタ検査の様子

ホールボディカウンタとは

体の中に取り込まれた放射性物質（セシウムのみ）の量を検査する機械です。その量から生涯に受ける内部被ばく量の預託実効線量（ミリシーベルト）が計算されます。預託実効線量とは、20歳以下の人は70歳になるまでに被ばくする線量を、21歳以上の人は内部被ばくしてから50年間に被ばくする線量のことを言います。

市が実施する検査について

- 対象者 日光市に住所を有する方
- 検査機関 公益財団法人 震災復興支援放射能対策研究所（ひらた中央病院内・福島県石川郡平田村大字上蓬田字大隈30番地）
- 検査料
 - 4〜18歳および妊婦、生活保護世帯の方：無料
 - 19歳以上の方：6,000円（市が半額を補助するため、自己負担額は3,000円です）
 - ※3歳以下の子どもや、検査できない子どもの代わりに検査した同居保護者1名は無料です。
- 検査日 1月26日、2月2日・9日・16日

日・23日、3月2日・9日・16日・23日・30日（いずれも土曜日）※各日定員40名

※4〜18歳の方が検査する場合は、同居の方も一緒に検査することで信頼性の高い結果が得られます。

●交通手段 無料バスで送迎します（片道約2時間）

●集合場所 今市保健福祉センター（平ヶ崎109番地）

●集合時間 午前11時50分（正午出発）

※参加者全員の測定をするため、現地での待ち時間として2時間程度かかります。

※他の交通手段をご利用の方は、平日も検査予約できます。その場合の交通費は、自己負担となります。

●検査結果 約1カ月後に郵送します。結果について不明な点などがあれば、検査機関に相談できます。

●申込方法 健康課まで、電話でお申し込みください。

●申込日時 1月10日（木）各検査日の1週間前までの、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分〜午後5時15分。

個人で検査を受ける方へ

平成25年1月1日以降に、他の検査機関でホールボディカウンタ検査を受けた市民にも、検査費用を助成します。

●助成金額

○18歳以下、妊婦、生活保護世帯の方：6,000円を上限とする検査費用

○19歳以上：3,000円を上限とする、検査費用の半額

※3歳以下の子どもや、検査できない子どもの代わりに検査した同居保護者1名も、検査費用（上限6,000円）を助成します。

●助成回数

同一年度において1人1回

※検査結果によっては、再度助成が受けられる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

●申請方法

ホールボディカウンタ検査費用助成交付申請書に記入し、検査の領収書、検査結果の写しを添付して、健康課へ提出してください。

※申請書は、健康課で配布します。

申し込み及びくわしくは

健康課（今市保健福祉センター内）
☎（21）2756

海外姉妹都市ラピッド市公式訪問団との交流

市は、海外姉妹都市であるラピッド市（アメリカ合衆国）との交流について、中学・高校生相互派遣事業を毎年、市民訪問団相互派遣事業を隔年で、それぞれ実施しています。

ラピッド市は年間30万人が訪れる観光都市で、マウントラッシュモア国立記念公園やクレイジーホース記念碑などが有名です。平成6年の旧今市市との盟約締結以来、18年にわたり交流が続いています。これまでに、中学・高校生を含めて、日光市から約400名を派遣し、ラピッド市から約370名を受け入れました。

ラピッド市公式訪問団の受け入れ

今年度はラピッド市の訪問団を迎える番でした。10月15日（月）〜21日（日）の7日間、ラピッド市から22〜76歳の男性1名、女性3名の計4名の公式訪問団が日光市を訪れました。4名は市内でホームステイをしながら、日光をくまなく訪問しました。

訪問団の4名は、全員が初めての来日でした。「日光の自然はとても美しく感激した」「初めての日本、日光を訪問して本当に良かった」「もう一度日光を訪れたい」と、訪れた感想を話していました。

日光市市民訪問団の派遣

平成25年度は、日光市の市民訪問団がラピッド市を訪れる予定です。ラピッド市を訪れる日光市民が増えることで、両市の友好がさらに深まります。

あなたも、市民訪問団の一員として、ラピッド市に行ってみませんか。

くわしくは

観光交流課国際交流係
☎（21）5196



ラピッド市長（右）と共に
国際交流係長 高梨 かずみ
たかなし 一己

ラピッド市へ行ってみよう！

ラピッド市は年間30万人が訪れる観光都市で、マウントラッシュモア国立記念公園やクレイジーホース記念碑などが有名です。平成6年の旧今市市との盟約締結以来、18年にわたり交流が続いています。これまでに、中学・高校生を含めて、日光市から約400名を派遣し、ラピッド市から約370名を受け入れました。毎年7月に実施している中学・高校生交流事業では、日光市の参加者から「行って良かった」「また絶対行きたい」との感想をよく聞きます。

興味のある方も、行ってみたいけど言葉や文化の違いに不安を感じる方も、参加することをお勧めします。忘れられない貴重な経験になると思いますよ。

